

令和4年12月9日

(宛先) 高松市長

実績報告書

次のとおり令和4年度脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業を実施したので、関係書類を添えて報告します。

氏名又は団体名称 及び代表者の氏名	弦打校区コミュニティ協議会
事業名	子どもたちの未来を守る「地域脱炭素チャレンジ」事業
選択テーマ (①～③)	②みんなで取り組むはじめての脱炭素行動
決算額 (総事業費)	102,105円
事業実施期間 (着手日・完了日)	令和4年8月6日 ～ 令和4年11月19日
事業実施内容及び実施状況	
※ テーマ①、②を選択した場合は、他の主体における再現性を意識し、事業の準備及び実施の経過を詳細に報告してください。 ※ テーマ③を選択した場合は、作成した広報媒体等を添付して提出してください。	
■主催・共催 主催：弦打校区コミュニティ協議会（環境美化部会） 共催：弦打校区放課後子ども教室運営委員会 弦打小学校PTA つるうちキッズクラブ 弦打幼稚園PTA 弦打保育所PTA（あゆみ会）	
■実施事業① リサイクル工場見学事業 『夏休みバスツアー ～リサイクル工場を見学しよう～』	
■事業の対象者 弦打校区放課後子ども教室（土曜つるピー教室）の児童と保護者 弦打小学校の児童と保護者 弦打幼稚園・保育所の児童と保護者 定員50名（親子または子どもだけの参加も可）	
■参加員数結果 小学生 36名 保護者 8名 スタッフ 7名	
■参加推進方法 弦打小学校全児童、弦打幼稚園・弦打保育所全児童にチラシを配布。 弦打校区放課後子ども教室の児童には別途案内。 配布・周知にあたっては、弦打校区放課後子ども教室運営委員会、弦打小学校PTA、つるうちキッズクラブ、弦打幼稚園PTA、弦打保育所PTA（あゆみ会）に協力をいただく。	

親子で！お友だちと一緒に！

夏休みバスツアーのご案内

令和4年度脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業（予定）

いつもは見られないリサイクル工場に行き、みんなのお家にあるペットボトルや缶がどうなっていくのか、見てみよう！
 その後はさぬぎ子どもの国に行き、めいっぱい遊ぼう！
 夏休みの自由研究のテーマにピッタリ！
 高松市主催のバスツアーではいつもすぐ満員になる超人気企画を計画しました。
 お子さまだけでもOK！親子参加もOK！兄弟参加OK！ぜひご参加ください。

日程	8月6日（土）雨天決行	持ち物
8時45分	コミセン集合・受付	水筒
9時00分	出発	お弁当（手作りでなくても大丈夫です！）
9時20分～	リソーシズ 国分寺工場見学	おにぎり、パンなどでも可 着いので、リュックに入れて 痛みにくいものを持たせて ください。
10時30分	移動	動きやすい服装
11時00分～	千疋工場見学	タオル・帽子など
12時30分～	さぬぎ子どもの国へ 昼食・自由時間	筆記用具 暑さ対策グッズなど
14時00分～	移動	おやつ：たべらえるだけ （涼げにくく、たべやすいも の）
14時30分	コミセン着・解散	

*貸切バスで移動します。

参加申し込み方法：定員50名（先着順） 参加費：無料

参加希望の方は、下記申込書を弦打コミュニティセンターまでお持ちいただくか、お電話、FAXでお申込みください。
 お申込み・お問い合わせ（087）882-0285 漆原まで（平日9～17時）
 締切は7月25日（月）です。

バスツアー参加申込書 7月25日（月）までにコミセンへ

クラス 年 組 お名前
 保護者の方 参加 子どものみ参加 緊急連絡先

■実施場所

株式会社リソーシズ 国分寺工場、千疋工場

■実施内容

- ①参加者に事前準備として身近なごみについて調べてきていただく。
- ②株式会社リソーシズを訪問し、高松市ゼロカーボンシティの趣旨や脱炭素型ライフスタイルの必要性・重要性について学ぶ講座を実施する。また、リサイクル工場を見学することで、脱炭素型ライフスタイルの取り組みの1つであるプラスチックのリサイクルについて学ぶ。
- ④学習後は、自分たちにできる取組について考えていただき、できるだけ夏休みの自由研究の題材として取り上げる。
- ⑤家庭や学校で研究内容を発表することで普及啓発を図る。
- ⑥地域ふれあい交流事業文化祭で研究内容を発表することで、地域住民に脱炭素型ライフスタイルの必要性・重要性を知っていただく。

■実施スケジュール

- 6月下旬 弦打校区コミュニティ協議会環境美化部会で企画内容検討
 共催団体へ協力依頼と企画内容の相談
 株式会社リソーシズ様に協力依頼と企画内容の相談
 バス会社に協力依頼と企画内容の相談
- 7月上旬 高松市脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業企画提案
 対象者に案内チラシを配布（採択の可否に関わらず実施する）
 自由研究用スケッチブックの手配
- 8月上旬 高松市脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業の採択決定
 準備物の確認
 事業実施
- 8月下旬 コミュニティ協議会役員会および環境美化部会で実施報告
- 9月上旬 自由研究提出
- 10月下旬 弦打校区ふれあい交流事業文化祭で自由研究の発表

■当日スケジュール

令和4年8月6日(土)

8:45 集合(弦打コミュニティセンター)

9:00 出発(貸切バス、自家用車にて)

9:20 開会あいさつ

高松市ゼロカーボンシティの趣旨や脱炭素型ライフスタイルについて学習
工場見学①リソーシズ国分寺工場

10:40 移動

11:00 工場見学②リソーシズ千疋工場

12:00 質問タイム

12:10 移動

12:30 解散(弦打コミュニティセンター)

■実施事業②

海ごみ事業 『クリーン活動に参加しよう～流れ着いた川ごみの行く末を考えよう～』

■事業の対象者

弦打校区放課後子ども教室(土曜つるピー教室)の児童と保護者

弦打小学校の児童と保護者

弦打幼稚園・保育所の児童と保護者

定員30名(親子または子どもだけの参加も可)

■参加員数結果

小学生 14名

保護者 11名

小学校教諭 1名

スタッフ 10名

■参加推進方法

弦打小学校全児童、弦打幼稚園・弦打保育所全児童にチラシを配布。

弦打校区放課後子ども教室の児童には別途案内。

配布・周知にあたっては、弦打校区放課後子ども教室運営委員会、弦打小学校PTA、つるうちキッズクラブ、弦打幼稚園PTA、弦打保育所PTA(あゆみ会)に協力をいただく。

親子で!お友だちと一緒に!

海ごみゼロ!パトロールのごあんない

令和4年度脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業

夏休みに開催したバスツアーに続く第二弾!
今回は、かがあ海ごみリーダーさんをお招きして、海に流れたゴミがどうなるのか、
ゴミの行く末を考えながら、みんなのゴミを海の魚やウミガメが口にしたら、さあどう
なるのか考えよう!
楽しくゴミを拾いながら、美しい瀬戸の海を守ろう。
お子さまだけでもOK!親子参加もOK!兄弟参加OK!ぜひご参加ください。

日程	11月19日(土)	雨天中止
9時00分	瀬戸海浜公園集合	
9時10分	開会あいさつ	
9時15分~	かがあ海ごみリーダーによる 講演会	
10時40分	パトロール開始	
11時40分	パトロール終了	
11時50分	開会あいさつ 解散	

持ち物

- 水筒
- 動きやすい服装
- タオル・帽子など
- 筆記用具
- 軍手など

参加申し込み方法 : 定員30名(先着順) 参加費: 無料

参加希望の方は、下記申込書を弦打コミュニティセンターまでお持ちいただくか、
お電話、FAXでお申込みください。
お申込み・お問い合わせ(087)882-0285 瀬戸まで(平日9~17時)

締切は11月11日(金)です。

パトロール参加申込書 11月11日(金)までにコミセンへ

クラス 年 組 お名前
クラス 年 組 お名前
保護者の方 参加・子どものみ参加 緊急連絡先

■実施場所

高松市食肉センター研修室、郷東海浜公園グラウンド周辺

■実施内容

- ①かがわ里海大学オーダー講座としてかがわ海ごみリーダーをお招きし、脱炭素型ライフスタイルの取組の1つとなる、海ごみやプラスチックスマートについて学ぶ講座を実施する。
- ②郷東海浜公園グラウンド周辺でプラスチックごみなどの不法投棄を回収する。
- ③参加者で自分たちができる取組についてディスカッションを行う。

■実施スケジュール

- 8月下旬 弦打校区コミュニティ協議会環境美化部会で企画内容検討
共催団体へ協力依頼と企画内容の相談
かがわ里海大学オーダー講座について香川県環境森林部 環境管理課に相談
高松市食肉センターに会場使用の依頼
- 9月中旬 かがわ里海大学オーダー講座 申請書提出
- 9月下旬 かがわ里海大学オーダー講座 開講承諾
- 10月中旬 対象者に案内チラシを配布
- 11月上旬 かがわ海ごみリーダーと打ち合せ
高松市環境指導課適正処理対策室に清掃活動実施計画書を提出しごみの回収依頼
- 11月中旬 準備物の確認
事業実施
- 11月下旬 かがわ里海大学オーダー講座 報告書提出
コミュニティ協議会役員会および環境美化部会で結果報告

■当日スケジュール

- 令和4年11月19日（土）
- 9：00 郷東海浜公園グラウンド集合
- 9：10 開会あいさつ
- 9：15 かがわ海ごみリーダーによる海ごみ講座
- 10：15 講演会終了
- 10：20 海ごみパトロール開始
- 11：20 海ごみパトロール終了
- 11：20 ディスカッション
- 11：30 ディスカッション終了
- 11：35 閉会あいさつ
- 11：40 解散

事業実施による成果及び課題

■リサイクル工場見学事業 『夏休みバスツアー ～リサイクル工場を見学しよう～』

今回の事業では、ゼロカーボンシティ達成の目標年次である2050年に、社会の中心を担う子どもたちに脱炭素型ライフスタイルの重要性を理解してもらうため、その取り組みの1つであるプラスチックのリサイクルについて学んだ。

リサイクル工場見学では、プラスチックごみや、缶・びん・ペットボトルがリサイクルされるまでの過程を見学した。中でも印象的だったのがプラスチックごみを、人の手でリサイクル可能なものと不可能なものに分別しているということである。汚れが付着しているものは異臭を発しており、リサイクルできずに焼却される。そして、その際に二酸化炭素が排出されていることを知ることができた。

今回、参加した子どもたちが学んだことは、夏休みの自由研究として小学校で発表し、その後、弦打校区ふれあい交流事業文化祭で発表した。そして、弦打校区コミュニティ協議会として、優れた発表をしていただいた児童に対して、表彰状と「ゼロカーボンシティたかまつ」ロゴピンバッジ、副賞を小学校の帰りのホームルームの時間に児童に授与した。

また、事業実施後、参加された子どもの保護者に話を聞くと、「子どもたちがペットボトルを捨てる際に水で洗うようになった」、「お母さん、そのまま捨てたらいかん」と言われるようになったという報告があった。

■事業実施上の注意点

- ・夏場はリサイクル工場で、ごみの異臭がきついため体調を崩す児童がいた。実施時期を慎重に検討した方がよい。また、マスクを2重3重に着けるなどの対策も必要と思われる。
- ・夏場は熱中症の危険があるため、子どもたちにこまめに水分を摂取させる必要がある。そのため、時間に余裕を持ったスケジュールを組んだ方がよい。
- ・小学校低学年や未就学児には少し難しい話になるので、対象者をよく検討した方がよい。
- ・子どもたちの体調の変化や水分補給、休憩に対応するため、多めのスタッフで引率する方がよい。
- ・工場内は機械の音が大きく、説明の内容が聞き取りづらいため、説明用のマイクは大きい音量が出るものを選定した方がよい。

■海ごみ事業 『クリーン活動に参加しよう～流れ着いた川ごみの行く末を考えよう～』

前半は、かがわ里海大学「オーダー講座」として、かがわ海ごみリーダー2名にお越しいただき、海ごみを学ぶ講座を実施した。海ごみの約7割は自分たちが暮らす陸から出たごみが、川を伝って海に流出していること、海ごみには様々な種類があること、そして、その海ごみが地球環境や自分たちの暮らしにどう影響しているかなどについて学習した。

後半は、参加者全員で実際に郷東海浜公園グラウンド周辺の海ごみ拾いを行った。参加した子どもたちからは、以下の感想や意見があった。

- ・海ごみには様々な種類があることを知った。
- ・海ごみにはきれいなごみや使えそうなごみもあった。でも多くは使えないごみだと思った。
- ・これからはゴミを捨てないようにする。
- ・これからはごみを持ち帰ろうと思った。
- ・マイクロプラスチックを食べた魚を私たちが食べているかもしれないので怖いと思った。
- ・普段から自分もゴミを拾おうと思った。
- ・海ごみを拾っている活動に参加してみようと思った。
- ・（夏にキッズクラブ主催の男木島キャンプに参加し、海岸の海ごみ拾いをした子供から）男木島の人たちはごみを捨てていないのに、自分たちが捨てたごみが流れ着いて困っていることを知って悲しくなった。

■事業実施上の注意点

- ・郷東海浜公園グラウンドに事前に下見に行った際には、多くのごみが捨てられていたが、当日はごみが少なく、あまり回収できなかった。恐らく他団体が清掃活動を行っていたと思われるが、参加者には「様々な清掃活動を行う団体が存在することは素晴らしいこと」という説明を行った。
- ・小学校低学年や未就学児には少し難しい話になるので、海ごみパトロールから参加する方法も検討した方がよい。

添付書類	収支決算書
	収支決算内訳書
	補助対象経費を支払ったことを証する領収書等の写し

注 記入欄は、適宜、行を追加し、又は資料を添付してください。

収支決算書

1 収入の部

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)	差引増減額 (円)	摘 要
高松市委託料	100,000	100,000	0	
弦打校区コミュニティ 協議会一般会計より	0	2,105	2,105	
計	100,000	102,105	2,105	

2 支出の部

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)	差引増減額 (円)	摘 要
消耗品費	10,000	20,857	10,857	
保険料	5,000	2,400	▲2,600	
役務費	77,000	77,000	0	
使用料及び賃借料	0	1,848	1,848	
交通費	8,000	0	▲8,000	
計	100,000	102,105	2,105	

※ 対象経費

対象経費は、取組の内容に要する経費（人件費、謝金、交通費、使用料及び賃借料、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、役務費等）とする。ただし、備品購入費や施設整備費等のハード事業に係る経費、経常的な運営費、その他事業との関連性が認められない経費については対象外とする。

なお、人件費は費用弁償として最低限必要な額に限るものとし、イベント等における参加者に係る経費等は認めない。

